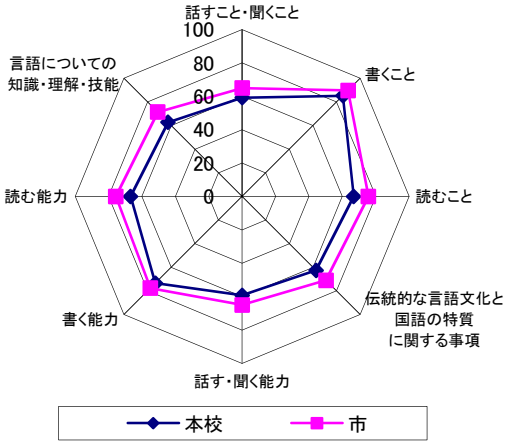
宇都宮市立上河内中央小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと･聞くこと	59.2	64.9	69.8
	書くこと	85.3	89.8	81.9
	読むこと	66.9	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	62.6	71.0	75.0
観点別	話す･聞く能力	59.2	64.9	69.8
	書く能力	73.4	77.7	73.7
	読む能力	66.9	75.6	75.1
	言語についての知識･理解･技能	62.8	71.4	74.9

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

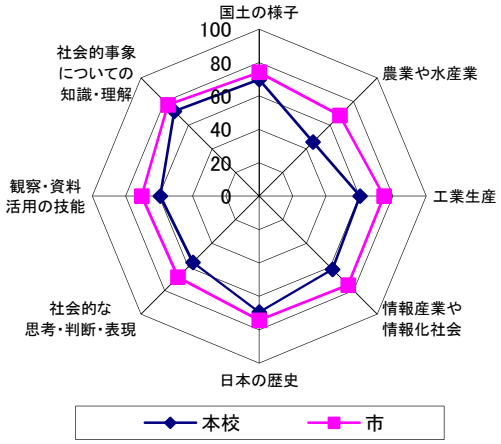
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	･校内正答率が59．2%で，市の平均を5．7%下回っている。 ･「司会者の役割を理解して，計画的に話し合うことができる。」の校内正答率は，市の平均との比較で20．4%下回っている。	･司会者や発表者などの立場や意図を明確にして，話し合い活動ができるように指導する。
書くこと	･校内正答率は，85．3%と十分定着は図れているが，市の平均を4．5%下回っている。 ･「指定された長さで文章を書くことができる。」の校内正答率は，93．1%と市の平均を5．9%上回っている。 ･「2段落構成で文章を書くことができる」の校内正答率は，69．0%と市の平均を12．9%下回っている。	･文章を書く機会を継続して多くしていき，文章を書く前に段落構成の計画を立て，内容に応じて段落で区切れるように指導する。
読むこと	･校内正答率が66．9%で，市の平均を8．7%下回っている。 ･説明文の「指示語を読み取ることができる。」の正答率は82．8%と3．7%市の平均より下回っている。 ･物語文の「文と文の相互関係に注意して人物の心情を読み取ることができる。」の正答率は55．2%で，市の平均を19．5%下回っている。	･登場人物の心情の読み取りに関しては，前後の文章から推測したり，ポイントとなる語句に気付いたりできるように指導する。 ･説明文の読み取りでは，指示語に着目し，どの文章内容を指しているか確認作業を多く取り入れて指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	･校内正答率は，62．6%で，市の平均を8．4%下回っている。 ･6年既習の漢字の読みでは，100%の正答率で市の平均を2．4%上回っているが，言葉の学習の「主語について理解している。」の正答率は，24．1%で市の平均を19．9%下回っている。	･漢字は，繰り返しドリル学習を継続指導していき，文は，主語と述語によって構成されていることと，形容詞の関係に着目しながら，文意を理解できるよう指導する。

宇都宮市立上河内中央小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	69.8	74.1	72.5
	農業や水産業	45.7	68.4	61.6
	工業生産	60.3	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	62.1	75.3	74.0
	日本の歴史	69.5	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	56.1	68.7	64.2
	観察・資料活用の技能	59.3	70.3	68.1
	社会的事象についての知識・理解	71.8	77.3	72.4

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

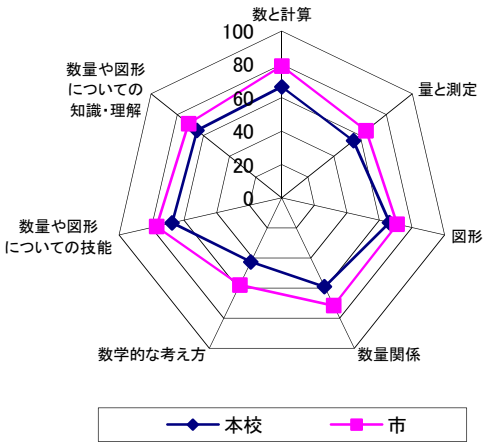
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・校内正答率は，市の平均を4．3%下回っている。 ・日本の周辺の海洋の理解の正答率が93．1%と市の平均と比較して10．3%上回っている。 ・森林を守るための間伐についての正答率が市の平均と比較して19．5%下回っている。	・日本の気候の様子が地形と国土の位置が深く関連づけられていることを理解できるよう指導する。 ・森林が私たちの生活や環境保全に欠かせないものあることや林業について復習していくよう指導する。
農業や水産業	・校内正答率は，市の平均を22．7%下回っている。 ・「品種改良について，資料をもとに，判断することができる。」の校内正答率が，市の平均と比較して31．8%下回っている。	・日本の食料生産に関する地図や資料を読み取る作業をしたり，米づくりや米の品種改良について調べたりする学習を取り入れる。
工業生産	・校内正答率は，市の平均を6．4%下回っている。 ・「日本の工業地帯や工業地域の特色について地図を読み取ることができる。」の校内正答率が，市の平均と比較して8．5%下回っている。	・重化学工業や軽工業の生産量と関連付けて，日本の工業地帯や工業地域の特色について地図にまとめるよう指導する。
情報産業や情報化社会	・校内正答率は，市の平均を13．2%下回っている。 ・情報ネットワークに関する問題の校内正答率が，市の平均と比較して15．6%下回っている。	・社会における情報産業の重要性や利用の仕方，コンビニエンスストアにおいての情報ネットワーク利用を調べて，情報化社会について考察するよう指導する。
日本の歴史	・校内正答率は，市の平均を4．9%下回っている。 ・鎌倉時代のはじまりについての校内正答率が市の平均を17．6%，書院造りの特徴についての校内正答率が市の平均を2．3%それぞれ上回っている。 ・弥生時代の社会の様子の校内正答率が市の平均より26．4%，奈良平安時代の文化の様子についての校内正答率が市の平均よりも18．5%それぞれ下回っている。	・鎌倉時代から現代までの史実や歴史上の人物については今後も系統的に指導していき，縄文時代から平安時代までの歴史的事象や文化については，時代背景と関連づけて理解できるよう年表や新聞などにまとめるよう指導する。

宇都宮市立上河内中央小学校 第６学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	66.5	79.0	78.9
	量と測定	54.9	64.6	66.2
	図形	66.2	70.9	77.8
	数量関係	59.0	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	42.6	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	67.4	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	64.9	71.3	75.5

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



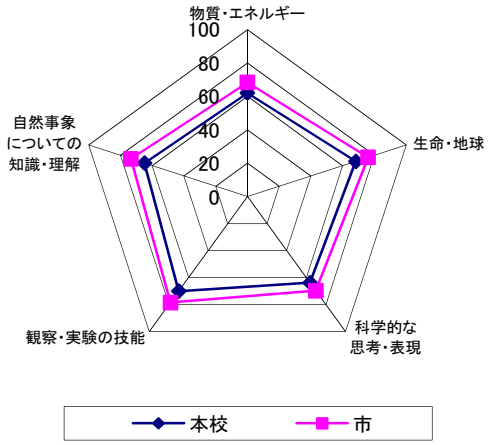
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・校内正答率は，66．5%で市の平均を12．5%下回っている。 ・「分数×分数」の計算は，定着が図れているが小数，分数の除法計算に課題がある。	・小数の筆算や，小数点の移動がある練習問題に取り組ませたり，問題文から数直線を活用して，図に表してから式を立てる活動を多く取り入れたりして，定着を図る。
量と測定	・校内正答率は，54．9%で市の平均を9．7%上回っている。 ・円の直径から面積を求めることができる」の校内正答率が市の平均よりも7．9%上回っているが，「速さの単位の関係を理解し，分速を時速に直すことができる。」の校内正答率は，市の平均を2．9%下回っている。また，平行四辺形や台形の面積を求める問題に課題がある。	・単位量当たりの大きさでもとにする量を「1」として考えるように，数直線をかかせて速さについて考えさせたり，時間の単位変換を復習したりして定着を図る。 ・平行四辺形や台形の面積の底辺や高さに該当する辺は，2つの三角形の組み合わせを利用していることを想起させ，公式を正しく理解できるよう指導する。
図形	・校内正答率は，66．2%で市の平均を4．7%下回っている。 ・「合同な三角形を作図する」ことに関しては，校内正答率が市の平均を0．3%上回っているが，「円の直径をもとに円周を求める式がわかる」は，校内正答率が市の平均よりも17．0%下回っている。	・正多角形や円の性質を具体物を使って調べたり，円周と円の直径の関係を図や計算で解説したことをまとめたりして，定着を図る。
数量関係	・校内正答率は，59．0%で市の平均を12．4%下回っている。 ・「比例の関係をxとyを使って式に表す」ことに関しては，校内正答率が市の平均を3．9%上回っているが，「割合と比の関係を利用した問題」に関しては，校内正答率が市の平均よりも19%下回っている。	・比例，反比例の関係を表から読み取り，比例定数を求めて，立式できるように反復練習をし，さらに定着を図る。 ・必要な情報を読み取り，比の性質を使って立式し，Xを求める方法を復習し，定着を図る。

宇都宮市立上河内中央小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	62.1	68.3	68.1
	生命・地球	68.3	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	63.8	69.7	68.0
	観察・実験の技能	70.0	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	64.8	73.4	73.9



※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・校内正答率は，62．1%で市の平均を6．2%下回っている。 ・「薪ストーブが空気が入れ替わる構造になってること」については，校内正答率が93．1%と十分定着が図られているが，ふりこのきまりや水溶液の性質を求めることについては課題がある。	・ふりこが一往復する時間は「ふりこの長さ」のみによって決まることを重点的に指導し定着を図る。 ・水溶液には，酸性，アルカリ性，中性があり，それぞれの性質を調べたり，何の水溶液か指摘したりできるよう指導し，定着を図る。
生命・地球	・校内正答率は，68．3%で市の平均より7．7%下回っている。 ・「月と太陽の位置関係と月の形の見え方」の校内正答率は62．1%で，市の平均を6%上回っている。 ・生物とかんきょうの「植物の生育」についての校内正答率は44．8%と市の平均より21%下回っている。	・生き物のくらしと環境について，水，空気，食物でつながっていることを図解による指導をして，定着を図る。